

- 1 日 程 2013年9月20日～2013年11月17日
59日間連続
- 2 走行コース 北海道宗谷岬～鹿児島県佐多岬
- 3 走行距離 3146キロ
- 4 参加者 日本縦断 12名 各ブロック参加 最大4名
- 5 ブロック 北海道・東北・北関東・東海道・山陽道・九州の6ブロック
- 6 実施方法

(1) スタート・ゴール

- スタート 北海道～京 都 午前6時
大 阪～鹿児島 午前6時30分
宿舎の玄関先から同時スタート（個人早発はなし）
- ゴール
 - ・大会が指定する宿舎を、その日のゴールとする。
 - ・打合せの始まる時間（目標時間）までにゴールするよう努める。

(2) 宿泊

- 宿 泊
 - ・大会が指定する宿舎に宿泊する。
 - ・予約宿舎を1ヶ月前に参加者に通知する。
 - ・部屋割りは、到着後、宿舎の指示に従う。
 - ・宿泊料は、ホテルなど前払い制の場合、各々が支払う。
 - ・旅館などの宿泊料後払いは、一括して会計が支払い、均等割料金を各自が負担する。
- 食 事
 - ・一般的に、朝夕の食事は各自確保する。
 - ・宿舎での食事を予約確保している場合は、事前に参加者に連絡する。
 - ・朝はスタート30分前から、夕は打合せ1時間前から食事する。

- 打合せ
 - ・夜の8時から打合せを行う。
 - ・打合せ場所は、事務局が宿舎と調整して決めておくので宿舎の人に聞く。
 - ・本日・明日のコース図、GP表、筆記具などを持参する。
 - ・打合せは、本日・明日のコース確認・GP説明・連絡調整事項など行う。
 - ・走行参加者以外の応援参加者などは、オブザーバーとして参加を認める。

(3) 走 行

- 走行コース
 - ・大会が設定したGP表の地点をたどりながら、旧街道のコースを走る。
 - ・各自が見たい所、調査したい所、やむ得ないコースアウト、通行不能など現地状況を判断してコース外を各自が判断して走行出来る。
- 旧街道
 - ・本大会コースは、江戸時代に一般的に利用された街道を提示した。
 - ・距離表示したコースが走行可能と思われるが、不通箇所がある場合は、旧街道に復帰出来るコースを各自が探索する。
 - ・旧街道で通行不能と予想される箇所は、細かい点線で表示したが、通行可能な場合もあるので、通行するかどうかは各自の判断による。
 - ・旧街道コースは、各府県教育委員会発行の「歴史の道調査報告書」の街道コースを主に採用した。(街道出典書籍一覧参照)
- 荷 物
 - ・大会で準備する(コース図など)以外に必要な個人の物は、自力で運搬・宿舎に送付・店舗購入など行い確保する。
 - ・自分の荷物は、自分が運搬する。
- エイド
 - ・大会エイドは一切なし。
 - ・励まし隊などの応援エイドは感謝し利用する。
 - ・特定の参加者のためのエイド・サポートはお断りする。
- GPS使用
 - ・地点確認などに利用する場合は利用可能ですが、コース誘導機能を利用しての利用は遠慮願う。
- 大会保険
 - ・大会としては保険に加入しない。
 - ・必要な損害保険は、各自が必要に応じて加入する。
- 走行不能時
 - ・走行(歩行)不能時は、一般交通手段を利用して次の宿舎まで移動し、休息・治療し次の走りに備える。
 - ・走れない状態でも、大会運営に役立つことがあれば自らは行なう。

(4) コース図

- コース図
 - ・事前に希望者に配布したコース図は、指定日までに事務局まで返送する。
 - ・事務局は、それを一括して定期的に宿舎に送付し、走行前に配布する。
- コース図原図
 - ・各自のコース図が宿舎に到着しない場合を考えて、コース図原図を携帯しておく。一定ブロック毎に宿舎に送付し、分担して持ち、不着時にはそれをコピーし利用する。
- G P表
 - ・全国の励まし隊などの人が、コース近くにあるグッドポイント（G P）を紹介してくれた。地点・内容を書いたG P表を、コース図配布時に一緒に配布する。G Pまで行くように勧めるが、各自の判断による。

(5) 記 録

- かわら版
 - ・毎日のかわら版を発行する。
 - ・打合せ時に、各自がその日の感想、成績、到着時間を記入する。
 - ・全員記入したかわら版を複写し配布する。また、雲峰さんのブログに掲載するよう送付する。
- 成 績
 - ・一日の走行を各自が自己判断した成績をかわら版に記入する。
 - 完 踏（○）： 目標時間までに自力で走行した場合
 - 頑張れ（□）： 自力で走行したが、問題ありと判断した場合
 - 部分走（△）： 一部交通機関を利用した場合
 - 走行無（一）： 交通機関のみを利用した場合
 - 無 印（ ）： 参加無し
 - ＊「問題あり」とは、目標時間を過ぎてゴールした、極短なショートカットがあったなど走行に問題あると自己判断した場合。
- 記録集
 - ・大会終了後に、大会記録集を発行する。
 - ・詳細は、別途連絡する。

7 その他

- 事務局分担 ・大会運営上必要な事務は，参加者全員で協力分担する。

- 変更 ・現地状況・気象状況などによる大会運営の変更は必要に応じて行う。
・個々の事情で，通常の大会運営と異なる変更が必要な場合，他の参加者の実質的・精神的に損なわない範囲で行なえるが，必要な調整・連絡は事前に行う。
・大会が改善されると思われる運営の変更は，積極的に挑戦する。